



新旧が共存するまち、浜松町

まちづくりNews第5号を担当させていただく東京都市大学都市生活学部エリアマネジメント研究室です。今回も浜松町の魅力を伝えたいと思います！私たちが実際に訪れて感じた浜松町の魅力は「新旧の共存」です。

浜松町は現在、東京の玄関口としてさらなる魅力を高めるべく開発が進んでいます。しかし、都市開発が進んでもなお、昔から変わらず残り続けるものがある新旧が共存したまちです。

そこで今回は「浜松町にしかないもの」をテーマに、新旧が共存する7枚の写真を紹介していきます！



旧 増上寺三解脱門
&
新 東京タワー

増上寺は1598年に現在の場所に移転されました。三解脱門は国指定文化財、木造阿弥陀如来坐像は都指定文化財です。多くの文化財がある増上寺と、1958年に竣工され、今もなお日本のシンボルである東京タワーと一緒に見ることのできるまち、それが浜松町です。

東京タワーが2本！？ どうやって撮影したでしょう？



増上寺×東京タワーというショットは多くの人の写真に収められてきたかもしれませんが。ここでは新しい視点から撮った増上寺×東京タワーを紹介します。

増上寺大門を抜け、増上寺へ向かう道にコンビニエンスストアがあります。このコンビニエンスストアの壁は暗めの反射鏡面ガラスが使われています。このガラスの反射を利用して、写真を撮ると上のような写真を撮ることができます。（※<写真の撮り方>参照）反射を使って二つの新旧の建物を撮影すると、まるで違う建物のようになり、違った楽しみ方ができるのではないのでしょうか。

この画が撮れるのはここだけなので、是非訪れて写真を撮ってみてください！

※<写真の撮り方>

見える図

